

南ア月報
(2020年7月)

【内政】

- ロックダウン警戒レベル3における追加措置の発表
- ズィンズィ・マンデラ大使の逝去
- アンドリュー・ムランゲニ氏の逝去
- 学校の休校、経済救済及び COVID-19 関連汚職対策等の発表
- 観光大臣による観光分野における規制緩和等の発表

【外政】

- ラマポーザ大統領の ILO グローバルサミット出席
- 第 14 回 EU・南ア閣僚級政治会合の開催
- ネルソン・マンデラ国際デーに際するパンドール国際関係・協力大臣による寄稿
- IS が南アを攻撃するという脅しに関する報道
- ジョン・ルイス米国下院議員逝去に際してのラマポーザ大統領による弔意

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- 南ア航空救済プランの可決、暫定 CEO の任命
- IMF が 42 億ドルの対新型コロナウイルス緊急融資を承認
- 南ア準備銀行（中銀）が政策金利を 3.5%へ引き下げ

【警備】

- OR Tambo 国際空港貨物エリアにおける PPE（マスク等）を狙った強盗

1 内政

●ロックダウン警戒レベル3における追加措置の発表

12日、ラマポーザ大統領は演説を行い、南アにおける新型コロナウイルスの感染者数増加を受け、ロックダウン警戒レベル3における追加措置として、酒類販売の即時停止、夜間外出禁止令（午後9時から午前4時まで）等を発表した。また、国家的災害事態が8月15日まで延長された。

●ズィンズィ・マンデラ大使の逝去

13日、マンデラ元大統領の娘のズィンズィ・マンデラ大使（Ms Zindziswa “Zindzi” Nobutho Mandela）ヨハネスブルグの病院において59歳で逝去し、後日、COVID-19に感染していたことが公表された。逝去を受け、ラマポーザ大統領は声明を出し、「大胆不敵な政治活動家の死を悼み、マンデラ一家に深い哀悼の意を表す。ズィンズィ・マンデラ氏は我々の闘争の間、アパルトヘイト体制の非人道性と自由のための我々の闘いの揺るぎない決意を国内に訴えた。解放後、同氏は我々が社会を変革し、何世代もの南ア人に対して否定されてきた空間や機会に足を踏み入れるという課題の象徴となった。」と述べた。

●アンドリュー・ムランゲニ氏の逝去

22日、リボニア裁判対象者（Rivonia Trialist）の最後の生存者であるアンドリュー・メケテ・ムランゲニ（Andrew Mekete Mlangeni）氏が逝去した。ラマポーザ大統領は、声明を発出し、「ムランゲニ氏の死は、世代を超えた歴史の終わりを意味し、未来を我々の手にしっかりと委ねた。」と述べた。また、ラマポーザ大統領はアンドリュー・ムランゲニ氏に敬意を表し、特別公葬（a Special Official Funeral Category 1）を宣言し、半旗が掲揚された。

●学校の休校、経済救済及びCOVID-19関連汚職対策等の発表

23日、ラマポーザ大統領は演説を行い、南アの新型コロナウイルス感染状況を受け、7月27日から4週間の公立学校の休校、経済救済及びCOVID-19関連汚職対策等について発表した。

●観光大臣による観光分野における規制緩和等の発表

30日、ヌグバネ観光大臣が会見を行い、観光産業分野に関する規制緩和措置等の発表を行い、夜間外出禁止令の開始時間を夜9時開始から10時開始に変更、居住地の同一州内における観光旅行を許可、それに伴う州内の観光目的の宿泊施設利用の緩和等が発表された。これらの規制緩和措置は31日付で施行となった。

2 外政

●ラマポーザ大統領のILOグローバルサミット出席

8日、ラマポーザ大統領は、テレビ会議形式で行われた「新型コロナウイルスと仕事の世界ILO（国際労働機関）グローバルサミット」に出席した。サミットは、「より良い仕事の未来を創る」というテーマの下に行われた。サミットでは、2019年のILO総会で採択された「仕事の未来に向けたILO創設100周年記念宣言」を踏まえ、COVID-19に焦点があてられた。ラマポーザ大統領はスピーチの中で、COVID-19のパンデミックによって失業が蔓延している状況を踏まえ、人々が働きがいのある人間らしい仕事を得られるよう協力することの重要性を述べた。また、同大統領は、COVID-19により、職場をより機敏で柔軟性を持ち、より安全なものにするためにはずみを与えられたと述べ、生活と経済を立て直すために多

大な努力が必要である強調した。

●第14回 EU・南ア閣僚級政治会合の開催

16日、第14回 EU・南ア閣僚級政治会合がテレビ会議形式で開催され、EU からボレル外務・安全保障政策上級代表、ホーガン委員（通商担当）及びウルピライネン委員（域内市場・産業・デジタル単一市場担当）、南アからパンドール国際関係・協力大臣、パテル貿易・産業・競争大臣及びムボウエニ財務大臣が出席した。両者は、COVID-19 による脅威を受けた中での、EU・南ア間の政治、社会及び経済における協力や EU・AU サミットの準備状況等に関し話し合った。両者は、COVID-19 が途上国に与える影響に関する懸念を共有し、本年12月に予定されている南ア安保理議長国に関し、意見を交換した。また、両者は、既存の二国間及び多国間の枠組みを利用し、両者の間の貿易及び投資を増加させる機会を検討した。南アは、投資を通じて生産業の発展目標を実現する計画を説明し、EU は、投資の促進、技術支援及び環境にやさしく、公正で包括的な経済回復を支援するための専門知識の供給などを約束した。

●ネルソン・マンデラ国際デーに際するパンドール国際関係・協力大臣による寄稿

21日付当地デイリーマーベリック紙インターネット版は、「ネルソン・マンデラの価値観を照射する公正な世界秩序を造るために共に働こう (Let's work together to create a just global order that radiates the values of Nelson Mandela)」と題されたパンドール国際関係・協力大臣の寄稿文を掲載した。同大臣は、パンデミックの災禍を経て、公正な世界秩序、及びネルソン・マンデラがその生涯を通じて照射した価値観に基づく人間的な世界を構築するために、国家内及び国家間の不平等を除去するために協働する必要性を強調した。

●IS が南アを攻撃するという脅しに関する報道

23日付当地デイリーマーベリック紙インターネット版は、ジャーナリストのファブリシヤス (Peter Fabricious) 氏による「IS が南アを攻撃するという脅しはどれだけ深刻なのか (How serious is the Islamic State threat to attack South Africa?)」と題された記事を掲載した。5月にテレビ会議形式で行われたある委員会において、パンドール国際関係・協力大臣は、南アがどのようにモザンビークを支援できるかをモザンビーク政府と協議していると述べ、先月、IS がオンライン週刊誌アル・ナバにおいて、南ア政府がカーボ・デルガードに軍事介入すれば、全能の神の許しにより、IS の戦士に南ア国内で戦端を開かせると警告する旨の記事を掲載した。一部の専門家は、南アに対する脅迫は深刻なものだと警告している。他方、ネット上に投稿された警告は、大部分がプロパガンダだと考えている専門家もいる。

●ジョン・ルイス米国下院議員逝去に際してのラマポーザ大統領による弔意

20日、ラマポーザ大統領は、17日に逝去した米国の公民権運動の闘士ジョン・ルイス下院議員に関し、レイシズムに抗する平等と普遍的な人権の推進によって、二つの大陸を団結させたことに敬意を表した。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数

2020年6月の消費者物価指数（CPI）は、前月に比べ0.5%上昇した。年間消費者物価インフレーション率は2.2%と、前月に比べ0.1%上昇した。（南ア統計局、7月29日）

●為替レート

2020年7月31日付（南ア準備銀行）

6.1962 ランド/円

16.8821 ランド/米ドル

20.0306 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2020年4月の製造業は、前年同月比49.4%減。主なマイナス要因は、鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で65.4%減。石油、化学製品、紙、ゴム及びプラスチック製品で41.5%減。自動車及び輸送機器関連製品で98.0%減。食料品及び飲料で19.4%減。木材及び木材製品、紙、出版及び印刷で49.2%減。また過去3ヵ月（2020年2月～4月）の季節調節後生産高は2019年11月～2020年1月の3ヵ月から16.9%減。製造業10部門全てで生産高減となった。（南ア統計局、7月9日）

●鉱業生産高

2020年5月の鉱業生産高は、前年同月比29.8%減。主なマイナス要因は、鉄鉱石で66.3%減、白金で27.3%減、マンガン鉱石で57.6%減。また過去3ヵ月（2020年3月～5月）の季節調節後生産高は2019年12月～2020年2月の3ヵ月から31.3%減。（南ア統計局、7月14日）

<出来事>

●南ア航空救済プランの可決、暫定CEOの任命

会社更生法の適用下（business rescue）にある国営航空企業の南アフリカ航空（SAA）の救済プランが債権者の86%の賛成を得て可決、当該プランは、債権者とSAA従業員にとって、会社清算よりもはるかに良い結果である。また、南ア政府は、労働組合と合意した早期退職パッケージを含む、労働関係法及び雇用基本法の最低要件を満たすために要する資金の提供を行う。暫定CEOとして豊富なビジネス経験を持つ航空会社幹部のフィリップ・サンダース氏（Philip Saunders）が任命され、暫定理事会と密接に連携し、SAAの抜本的な再編を実施する暫定運営チームを指名する。

●IMFが42億ドルの対新型コロナウイルス緊急融資を承認

7月27日、IMF理事会は新型コロナウイルス対策として、対南アに42億ドルの緊急融資を承認した。南アが同行から予算資金援助を受けるのは初である。ANC内の特定の派閥からは反対されていたものの、ムボウェニ財務大臣は、当該融資に関して「国家主権を弱体化させるものではない」と言及。その他、新開発銀行からは10億ドル、アフリカ開発銀行からは2.8億ドルの融資が決定している。

●南ア準備銀行（中銀）が政策金利を3.5%へ引き下げ

20日、中銀は政策金利を3.75%から3.5%へ引き下げることを発表。1998年以来、最低

水準を記録した。この決定により、中銀は今年に入り既に複数回の政策金利の引き下げを行い、2020年1月から既に2.75%もの政策金利をカットしたことになる。

4 警備

●OR Tambo 国際空港貨物エリアにおけるPPE（マスク等）を狙った強盗

18日、12時半頃、OR Tambo 国際空港貨物取扱いエリアに武装強盗団が押し入り、従業員等に銃を突きつけてPPE（マスク等）を強奪した。通報を受けた警察や警備会社が直ちに現場に向かい、トラック等で逃走する強盗団を追跡した。強盗団は、警察等と銃撃戦となって7人が逮捕され、強盗団のうち2人が射殺された。